



ALSO プロバイダーコース in 山形大学



Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもあります。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にAmerican Academy of Family Physicians (AAFP—米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78%がALSOをプログラムに導入しています。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを修了しました。

コースの教材は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップで、筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれています。ALSOはLDRにおける産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者—医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは二日間。重要レクチャーは妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の8つです。

少人数グループによる重要ワークショップは肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例の5つ。オプション・ワークショップ：会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つです。

プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができます。

今回のプロバイダーコースは、山形県で初めての開催ということもあり、少人数限定となりますが、今後開催を重ねて広く受講希望者を募っていく予定ですので、ご了承いただきたく存じます。

ALSO-Japan

セミナー：ALSO プロバイダーコース in 山形大学

主催：山形大学医学部 産科婦人科学教室

共催：NPO 法人周生期医療支援機構（OPPIC）

定員：20名（各病院より2名の参加者をご推薦ください）

受講資格：医師・助産師・研修医

会場：山形大学医学部 臨床研究棟 新講義室1階 CBT室、大学院演習室他

日時：平成27年10月31日（土）8:30～18:00、11月1日（日）8:30～17:00

参加費：30,000円

申込方法：下記①～⑪を記載の上、山形大学医学部産科婦人科；堤 誠司宛、e-mailにてお申込み下さい。（stsutsumi@med.id.yamagata-u.ac.jp）

- | | | | |
|-------|--------|-----------------|------------|
| ① 名前 | ② ふりがな | ③ ローマ字表記 | ④ 所属病院 |
| ⑤ 診療科 | ⑥ 役職 | ⑦ 職種 | ⑧ 卒業年度（西暦） |
| ⑨ 現住所 | ⑩ 携帯番号 | ⑪ メールアドレス（PCのみ） | |

申込締切：8月7日

***携帯メールアドレスは受け付けられません。**

<お問い合わせ>

〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2

山形大学医学部 産科婦人科学教室

堤 誠司 Tel. 023-628-5393/Fax 023-628-5396

e-mail: stsutsumi@med.id.yamagata-u.ac.jp

山形大学医学部 CBT 室及び無料駐車場（職員駐車場） 案内図

CBT 室 臨床研究棟 新講義棟 1 F



<自家用車利用>

職員駐車場を無料で利用できます。

有料の外来駐車場を利用された場合、料金の負担はできません。